

第 39 回 IFRC(International Fusion Research Council)報告
議事要約

井上信幸

日 時：2001 年 7 月 13 日

場 所：IAEA A1972 号室

出席者：IFRC メンバー

Brazil 欠席, China 欠席, EU U.Finzi, France J.Jacquinot, Germany M.Kaufmann,
India P.K.Kaw (Chair), Italy F.De.Marco, Japan N.Inoue, Korea 欠席,
Russia V.P.Smirnov, Spain C.Alejaldre, UK D.C.Robinson, USA M.Roberts
事務局他

EU S.Clement-Lorenzo,

IAEA W.Burkhart, D.D.Sood, T.J.Dolan, U.Schneider, C.Basaldella

議 事：

1. Dr. Brkhart が新議長 Dr. Kaw と新メンバーDr. Finzi を歓迎. 米国の Bush 大統領が新しいエネルギー政策の中で核融合開発に関して好意的に述べたことを紹介. IAEA は引きつづき ITER をサポートすると表明. 事務局の Dr. Schneider と Dr. Dolan が 2002 年 10 月開催の次回 IFRC 会合前に IAEA を去ることを紹介して謝意を表明.

Kaw 議長が IAEA のプログラム再編成が核融合開発に与える影響に懸念を表明. Dr. Sood が, 再編成は Nuclear Application 部門の発散を解消して Nuclear Engineering 部門を強化するために行われるものであり, 核融合開発を軽視するために行われるわけではないと説明. Basic physical sciences は Major Program 1 (MP1)の Nuclear Science and Technology で扱うことが決まったことを紹介. それにより核データ, 研究用原子炉, 加速器, 核融合研究は MP1 に移された. MP2 の Nuclear Application には, 地雷探査のような実用的応用研究が残った.

これに対して, 核融合がサブプログラムからプロジェクトに移された理由について質問があり, Burkart 博士がサブプログラムにはそのタイトルを正当化できるほど十分な予算がないこと, 課題が発散していること, プロジェクト数が多すぎることによると回答.

2. Agenda を承認
3. 前回議事録を承認
4. 前回以降の活動項目について

World Survey of Activities on Controlled Fusion Research を IAEA 出版局からの外注により改訂中. 物理セクションはウェブサイトの維持等のために無給のインターンを要請している.

啓蒙用の小冊子や、IFRC による世界の核融合研究の現状レポートを準備中である。事務局が前者については EFDA(European Fusion Development Agreement)の担当者に、また後者については IFRC メンバーに相談する。

5. 国内レポートに関する報告と質疑

EU とロシアから報告があった。

6. 核融合開発についての各国の支援状況

IFRC メンバーから各国の状況について報告があった。国の代表者が核融合に関して好意的発言をしてくれるよう、メンバーから働きかける必要があるとの認識で一致。

7. 国際協力

ITPA (International Tokamak Physics Activity)をスタートすることについて合意した。

核融合関連の会合に関するリストを集めたウェブサイトが必要であるとの要請があり、ガルヒングの ITER CTA 担当者に IFRC のウェブサイトの管理を依頼することが提案され、了承された。

8. ITER の状況

Dr. Finzi から ITER の現状、サイトに関する政府間交渉の状況、CTA の件、米国の再参加の可能性等に関する説明があった。

Dr. Jacquinet から、2002 年 10 月 13 日～19 日にフランスリヨンで開催される、第 18 回 IAEA 核融合エネルギー会議の準備状況について報告された。Artsimovich-Kadomtsev Memorial lecture を Dr. Pellat に依頼すること、そのあと Press conference を行うことが了承された。Press conference には会議のホスト国代表、IFRC 代表、IAEA と ITER 参加極が出席する。

9. その他

IFRC 副議長に Dr. D.C.Robinson (英) を選挙で選んだ。

IFRC は 2004 年の核融合エネルギー会議のホスト国としてポルトガルを推薦することとした。

次回の IFRC を 2002 年 10 月 13 日にリヨンで開催する。

以上